

“大腸 sm 癌の深達度細分類”の最大目的はどのような sm 癌が内視鏡的治療の対象となるかを明確にすることにある。粘膜下層の厚さを 3 等分した癌深達度からみると、sm₂・sm₃ 癌と sm₁ 癌とは術前診断が可能であり、両者間で ly(+), v(+), n(+)に差があることが、本号で今まで以上に明確にされた。一方、m 癌と sm₁ 癌では術前の鑑別診断が困難で、sm₁ 癌の中にも v(+)例が数%存在することも明らかになってきた。

しかし、本号で強調されているような精密な術前診断が日本全国で様に行われている状況ではない。これに対し、内視鏡的腫瘍摘除は多くの施設で行われるようになってきている。このため、内視鏡的摘除例での sm 深達度判定や追加外科手術の必要性の判定が現実には大きな問題となっている。本号で採用された sm 癌の深達度細分類は粘

膜下層の厚さ(症例により、同一症例でも局所局所により、厚さが異なる)に対する相対値分類であり、内視鏡的摘除例では使用し難いという難点がある。

本号の成績を足掛かりとして、大腸 sm 癌の深達度細分類は、“相対値”と“絶対値”のどちらが癌の生物学的態度を判定するのに正確であるのかを再検討する機会が必要であろう。同時に、大腸癌、特に早期大腸癌は細胞異型度からみて“低異型度癌”の出現頻度が高く(m 癌で 70~80%, sm 癌で 20~30%), これと“高異型度癌”とは粘膜下浸潤能、ly(+), v(+), n(+)の率、宿主組織破壊や宿主反応を異にすることも知っておく必要がある。このことが sm 浸潤部の肉眼所見や内視鏡的摘除腫瘍の組織学的予後因子にも影響を与えるからである。

胃と腸

12月号(第29巻・第13号) 予告

発売予定 12月25日
定 価 2,060円(税込)

主題／上部消化管病変の特徴からみた全身性疾患

序 説	上部消化管病変の特徴からみた全身性疾患……………川崎医大・消内	飯 田 三 雄
主 題	消化管アミロイドーシスにおける上部消化管病変の特徴……………九大・2内	多田 修治・他
	Crohn 病における上部消化管病変の特徴……………東北大・3内	樋渡 信夫・他
	血液疾患における上部消化管病変の特徴……………鹿大・2内	青崎真一郎・他
	ポリープ症候群における上部消化管病変の特徴……………国立がんセンター・放	中嶋 秀磨・他
	感染性疾患における上部消化管病変の特徴……………松山日赤・消	堺 勇二・他
主題症例	十二指腸多発腺腫を契機に発見された家族性大腸腺腫症の1例……………九大・2内	檜 沢 一興・他
	十二指腸病変が発見の契機となった Crohn 病の1例……………九大・2内	松本 主之・他
	十二指腸病変が発見の契機となった二次性アミロイドーシスの1例……………福大筑紫病院・消	山本 淳也・他
	十二指腸に特徴的な所見を認めた ATL の1例……………済生会二日市病院・内	畠山 定宗・他
	食道カンジタ症で確診された AIDS の1例……………都立駒込病院・内	山田 義也・他
	食道潰瘍を契機として発見された Behçet 病の1例……………京都第一日赤・胃腸科	伊藤 義幸・他
	経過観察中に肺癌の合併をみた Cowden 病の1例……………名古屋市大・1内	遠藤 一夫・他
	竹の節状びらんが発見の契機となった Crohn 病の1例……………旭川医大・3内	横田 欽一・他
	胃に多発性隆起性病変を認めた好酸球性胃腸炎の1例……………旭川医大・3内	垂石 正樹・他

胃と腸 (第29巻 第12号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03)3817-5714

販売部直通 (03)3817-5659

1994年11月25日発行(毎月25日発行)

1部定価2,060円(本体2,000円)(配送料124円)

年ぎめ予約購読料27,440円(本体26,641円)

(増刊号4,120円を含む13冊)(送料弊社負担)

FAX (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎(03)3814-5771

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1994, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ☒ <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

(担当)竹中・小松原・江口・長谷川